

No.	ご質問	回 答	該当箇所	掲載日
①認証制度に関するQ&A				
1	当事業所は、事業所の指定を受けてから3年以上経過しています。しかし、会社の合併により新規指定となり、それから3年以上経過していません。この場合は、申請の対象とならないのでしょうか。	事業所の合併又は別法人による事業の継承の場合であっても、事業所が実質的に継続して運営していると認められる期間が3年を経過している場合は申請の対象となります。 ただし申請にあたって 変更前後の経緯が確認できる書類 （法人の登記事項証明書、事業所の指定通知書等）を申請時に提出してください。	・「認証申請の手引き」のP7 ・申請フォームの設問1	9月8日
②申請手続きに関するQ&A				
1	申請方法は、オンラインによる方法しかないのでしょうか。	オンラインの申請フォームから申請できない場合に限ってのみ、書面による申請も受け付けることとしています。書面申請を希望される場合は以下の手順で申請を行ってください。 <書面申請の手順> 1. “書面申請書類送付依頼書”をプリントアウトしてください。 *クリックしてダウンロード 【◆書面申請書類送付依頼書】 2. 必要事項を記載し「認証申請サポート室」へFAXでお送りください。 * FAX番号は書面申請書類送付依頼書に記載しています。 3. 「認証申請サポート室」にて依頼書を受領後、依頼書内容を確認のうえ書面申請に必要な書類を依頼書に記載されたご担当者・送付先住所へ郵送します。 * 内容確認のため、お電話を差し上げる場合があります。 4. 書類到着後、申請書類を作成し「認証申請サポート室」へ期日までに郵送にてご提出ください。 * 記載要領等の詳細は申請書類に同封します。	・「認証申請の手引き」のP23	8月18日
2	「全職員の雇用日数（日）」の定義を教えてください。	雇用日数とは、 日曜日等を含めた全体の雇用日数 となります。 例えば、職員7名を1年間継続して雇用した場合、 7人×365日＝2,555日として計算してください。	・「認証申請の手引き」のP46 ・申請フォームの設問28	9月1日
3	Zoom等を用いたオンライン研修は内部研修となりますか。また、E-ラーニング形式で受講した研修は、1コマ1研修として算定できますか。	・Zoom等を利用したオンラインの研修やE-ラーニングの場合であっても、主催が外部の団体である場合は外部研修として算定を行います。 ・なお、参加手段を問わず、 受講回数は参加研修ごとにカウント してください。例えば、それぞれ異なる研修を受講されている場合は、1コマ＝1研修としてカウントしてください。複数コマ受講しなければ修了できない研修等である場合は、複数コマ＝1研修とカウントしてください。	・「認証申請の手引き」のP50,51 ・申請フォームの設問36,37	9月1日
4	申請要件に「職員が1名以上」とありますが、その職員が、同一法人内で介護とは別の仕事を兼務している場合も人数にカウントできますか。	同一法人内で別の業務を兼務されている場合であっても、当該事業所での勤務実績があれば、人数にカウントして頂いて構いません。	・「認証申請の手引き」のP7、44～51 ・申請フォームの設問2、24～37	9月1日
5	パート・アルバイト職員は職員数にカウントできますか。	パート職員、アルバイト職員については、 当該事業所と直接の雇用関係にある場合 において、職員としてカウントして頂いて構いません。	・「認証申請の手引き」のP7、44～51 ・申請フォームの設問2、24～37	9月1日
6	オンライン申請時に「Googleアカウントにログインし、フォームで申請」とありますが、複数の事業所を申請する場合、事業所ごとに別々のアカウントで申請する必要がありますか。	事業所ごとに別のアカウントで申請する必要はなく、 同じアカウントで複数事業所の申請が可能 です。	・「認証申請の手引き」のP24～40	9月1日
7	「認証申請の手引き」P50,51の「対象期間中の全職員数（人）」について、年度途中で入職または退職した職員の職員数はどのように算出したらよいですか。	対象期間（令和4年4月1日～令和5年3月31日）の途中で入職や退職した職員は、 在職期間に関わらず「1人」として算定 してください。	・「認証申請の手引き」のP50,51 ・申請フォームの設問35	9月8日
8	認証申請の手引き P45の「有給休暇付与対象の職員数」について、退職した職員も含めることとなっていますが、対象期間中に有給休暇が付与されていない場合は、職員数に含めなくてもよいですか。また、その場合、退職した職員の有給休暇取得日数は「全職員の有給休暇取得日数」に含めてよいですか。	「有給休暇付与対象の職員数」とは、対象期間中（令和4年4月1日～令和5年3月31日）に有給休暇が新たに付与された職員数となります。よって、対象期間中に有給休暇が付与されていない職員は職員数として算定できません。 ただし、「全職員の有給休暇取得日数」については、有給休暇の付与の有無に関わらず、日数を算定してください。	・「認証申請の手引き」のP45 ・申請フォームの設問24,26	9月8日
9	申請入力の前に回答を準備したいのですが、設問全体を確認する方法はありますか。	申請フォームのトップに「設問一覧.pdf」を追加しました。事前準備等にご利用ください。	・「認証申請の手引き」のP13	9月20日
10	パートタイム職員の雇用日数を算定する場合、月に2～10日程度の出勤者でも休日を含めた日数で算定してよいですか。	パートタイム職員等の短時間労働者である場合も、 雇用日数は通常の職員と同様に算定 してください。 (例：8月に雇用していた場合の雇用日数は31日として算定) なお、雇用日数についての考え方は、本Q&AのNo.2にてお示ししていますのでご確認ください。	・「認証申請の手引き」のP46 ・申請フォームの設問28	9月20日

11	全職員の①有給休暇取得日数、②時間外勤務時間、③勤続年数を算定する場合、それぞれの端数処理を詳しく教えてください。	<p>①有給休暇取得日数（日） 各職員の半日休や時間休など1日未満の取得分まで含めたいえで合計したのち、それらを日数換算してください。なお、合計後の端数（1日未満）については「切り捨て」してご回答ください。</p> <p>②時間外勤務時間（時間） 分単位の時間外勤務時間まで含めたいえで合計したのち、それらを時間換算してください。なお、合計後の端数（1時間未満）については「切り捨て」してご回答ください。</p> <p>③勤続年数（年） 各職員の勤続月数まで含めたいえで合計したのち、それらを年数換算してください。なお、合計後の端数（1年未満）は、「切り捨て」してご回答ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「認証申請の手引き」のP44～47 ・申請フォームの設問24,27,29 	9月20日
12	YouTube動画によるものは研修としてカウントしてよいですか。	<p>YouTube等の動画コンテンツについても、研修としてカウントして問題ありません。</p> <p>ただし、「研修に使用することを目的として作成されたもの」に限りますのでご注意ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「認証申請の手引き」のP50,51 ・申請フォームの設問36,37 	9月20日
13	オンライン申請の際のグーグルアカウントは法人で作成しなければなりませんか。	オンライン申請の場合のグーグルアカウント取得については法人、個人の指定は特にありません。	<ul style="list-style-type: none"> ・「認証申請の手引き」のP25～30 	9月20日
③その他のQ&A				
1	案内チラシに掲載されているQRコードが読み取り出来ず、説明動画や手引きを見ることが出来ません。	ご使用の携帯電話等から案内チラシのQRコードを読み取ることが出来ない場合は、直接ホームページより説明動画、手引きをご確認ください。	<ul style="list-style-type: none"> ・案内チラシ 裏面「本申請に関する専用ホームページ、資料のご案内」 	9月1日